

## 工事技術調査結果報告書作成要領

令和 8 年度工事技術調査業務委託にかかる調査結果報告書は、当該契約書及び仕様書のほか、この作成要領に基づき作成し、調査終了後、仕様書に定める日時までに提出するものとする。

1. 工事技術調査結果報告書の鑑文は別紙 2（概要版は別紙 2 - 1）の様式とする。  
業務完了報告書は、別紙 3 の様式とする。
2. 表紙のページには、調査実施日、調査場所、調査立会者、調査対象工事など必要事項を記載するものとする。
3. 本文の記載について（概要版は別紙 2 - 1、業務完了報告書は別紙 3 の記載例のとおりとする。）
  - ① 調査の範囲及び方法を記載する。
  - ② 調査対象工事及び工事内容説明者を記載する。
  - ③ 工事概要について、工事場所、工事に至った背景と工事内容等を記載する。  
（記載例 参照）
  - ④ 工事技術調査（技術士の所見）  
調査に当たっての総括的所見を具体的項目をもって記載する。
  - ⑤ 工事着手前における技術的事項を記載する。  
調査及び設計・積算単価などについて所見を記載する。
  - ⑥ 工事着手後における技術的事項を記載する。  
施工管理、工程管理、品質管理、工事監理、安全管理など現場の施工体制等について必要に応じて記載する。
  - ⑦ その他必要に応じて付加価値を向上させる提案等があれば記載する。
  - ⑧ 各対象工事について、現地確認を行った箇所又は問題等があった箇所については、現況写真等を報告書に挿入する。
  - ⑨ 工事技術調査報告書については、1 工事箇所当たり 3～4 ページ程度にまとめ、1 対象機関あたり 15～20 ページ程度とする。（鑑文書は除く）

別紙2

令和 年 月 日

## 工事技術調査結果報告書

長崎県知事 平田 研 様

所在地  
法人名  
代表者職氏名

令和 年 月 日から令和 年 月 日に実施しました工事技術調査の結果について、委託契約書第1条第3号の規定により下記のとおり提出します。

### 記

1. 実地調査従事者 技術士 ○○ ○○
2. 調査対象機関 ○○振興局（○○部○○課、○○事務所）
3. 調査対象工事 別紙のとおり
4. 調査の結果 別紙のとおり

【表紙】 ※ 監査対象機関毎に作成する。

令和8年度

長崎県工事技術調査結果報告書

令和 年 月 日

法人名  
技術士氏名

調査実施日 : 令和 年 月 日 ( ) ~ 日 ( )

調査場所 : ○○ 振興局及び当該工事現場

調査立会者 長崎県監査事務局 ○○ ○○

調査対象工事

1. ○○第000号 ○○河川改修工事
2. ○○第000号 ○○街路改築工事
3. ○○第000号 ○○港湾改修工事
4. ○○第000号 ○○道路改修工事
5. ○○第000号 ○○急傾斜地崩壊対策工事

【本文1】

I 調査の範囲及び方法

工事技術調査は、技術的観点からの調査を主眼としているため、前回監査基準日以降、今回の調査実施日までの間に竣工した工事の中から、〇〇件について抽出し設計図書等の審査及び現場での実地調査を実施するとともに関係職員の説明を受けて行った。

II 調査対象工事

1. 〇〇第〇号 道路災害復旧工事（〇〇線）

(1) 工事内容説明者            〇〇課      課長            〇〇   △△  
                                         〇〇課      係長            〇〇   △△  
                                         〇〇課      主任            〇〇   △△

[記載例]

(2) 工事概要

1) 工事場所            長崎県〇〇市   △町   □郷

2) 背景と工事内容

工事を行った理由原因等及び工事概要等を簡潔に記載すること

令和    年   月    日梅雨前線により、当該地の土羽法面崩壊が発生したため  
国庫負担を利用して、その緊急対策工事を実施した。

その工事の主たる概要は以下のとおりである。

復旧延長   L = 35m            復旧幅員 = 7.9 m

籠工    L = 360m            芝生工   1630㎡      排水工   92m

3) 工事請負会社            〇△株式会社

4) 設計業務委託            □□環境技術株式会社

5) 工事監理            直営

6) 当初工期            令和   年   月   日 ~ 令和   年   月   日

    変更工期            令和   年   月   日 ~ 令和   年   月   日

7) 事業費            設計額                            変更設計額  
                                 請負額                            変更請負額  
                                 予定価格  
                                 落札率            %

8) 工事進捗率    100% (令和    年   月   日現在)

(3) 工事技術調査の所見

当工事の計画・調査・設計・仕様・積算・施工管理・試験検査・監理監督等の各段階における技術的事項について調査した結果・・・・・・・・であった。

(具体的事例を記載すること)

(4) 工事着手前における技術調査事項

工事着手前における事項(調査結果における対応策を記載する。)

[記載例]

① 調査及び設計について

まず崩壊した斜面幅約30mについて・・・・・・・・・・  
確認していた。それによると・・・・は垂直方向にずれが生じていると推定される  
集中豪雨により、・・・・にそって崩壊したと推定される。今後の地下水位上昇  
抑制措置が最有効手段と考えられるので・・・・工法について比較検討していた。  
(設計コンサルに委託している内容等の是非についてコメント)

設計は主として以下の基準・指針類を参考にしており、・・・・であると判断した  
設計図書に使用した具体的基準、指針を列記する。

② 単価及び積算

歩掛及び単価の基本は主として以下の基準、指針に数量算出は長崎県土木部  
数量算出・・・・要領に準じており・・・・・・・・であった。

また、それらにないものは、他の基準、類似工事の値を使用するか、3者見積  
りの・・・・値を採用し、低減値を乗じたものとなっていた。

設計書の照査については・・・・となっていた。

[記載例]

工事で発生するアスファルト塊の中間処理施設の受入態勢把握が不十分であっ  
たため、当初計画より〇〇km遠い施設への変更が生じている。

事前調査を行っていれば変更の必要がなかった。

③ 積算について

山止工事に仕様する仮設鋼材運搬費の積算で、購入することとしている仮  
鋼材について運搬費を計上している。しかしながら、仮設鋼材の購入は現場  
渡し価格となっていることから運搬費は不要である。このため、積算額約〇  
が過大なものとなっている。

・  
・  
・

(以下必要に応じて項目を増やす)

(5) 工事着手後における事項（調査結果における対応策を記載する。）

[記載例]

① 施工管理について

仮舗装工で、設計では改良部分〇〇㎡の仮舗装を行うこととしているが、施工においては、そのうち〇〇㎡の仮舗装を行わず、代替として板材による仮路を設置している。また、それを確認できる工事記録写真等の施工関係図書整備されていなかった。

② 工程管理

③ 品質管理

④ 工事監理

⑤ 安全管理について

高さが2 m以上で作業床を設けていない箇所で作業を行っているにもかかわらず、転落防止の対策を講じていなかった。「労働安全規則」を遵守し、不慮の事故を防止するような請負者を指導する必要がある。

(以下必要に応じて項目を増やす)

(6) 付加価値を向上させる提案

①〇〇について

(以下必要に応じて項目を増やす)

(7) 各対象工事について、現地確認を行った箇所については、次のとおり写真を添付すること。

- ・ 全景写真を1～2枚程度  
(指摘がある場合は、指摘箇所の詳細な写真も)
- ・ 現場法定掲示物 等の写真

〇〇第〇号 道路改良工事 (〇〇線)

・  
・  
・

以下前記の例により作成

別紙2-1 (※調査の結果、適正さを欠く事例があった場合)

令和 年 月 日

## 工事技術調査結果報告書(概要版)

長崎県知事 平田 研 様

所在地  
法人名  
代表者職氏名

令和 年 月 日から令和 年 月 日に実施しました工事技術調査の結果について、委託契約書第1条第3号の規定により下記のとおり提出します。

### 記

1. 実地調査従事者 技術士 ○○ ○○
2. 調査対象機関 ○○振興局(○○部○○課、○○事務所)
3. 調査対象工事 別紙のとおり
4. 調査の結果 別紙のとおり

【表紙】 ※ 監査対象機関毎に作成する。

<table border="1"><tr><td>令和8年度</td></tr><tr><td>長崎県工事技術調査結果報告書（概要版）</td></tr><tr><td>令和 年 月 日</td></tr><tr><td>法人名 技術士氏名</td></tr></table>	令和8年度	長崎県工事技術調査結果報告書（概要版）	令和 年 月 日	法人名 技術士氏名
令和8年度				
長崎県工事技術調査結果報告書（概要版）				
令和 年 月 日				
法人名 技術士氏名				
1. 調査実施日 : 令和 年 月 日 ( ) ~ 日 ( )				
2. 調査場所 : ○○ 振興局及び当該工事現場				
3. 調査立会者 長崎県監査事務局 ○○ ○○				
4. ○○第000号 ○○○○工事				
5. 工事概要（契約金額、請負業者、変更契約の有無等）				
6. 工事技術調査の所見 [記載例] 例1 設計について グラウンドアンカー工の設計に際し、委託業者の調査・設計の検討不足から法 面再設計を行っており、再設計による設計変更を受け工事が実施されている。 例2 工事変更等について 仮設工の工法検討に際し、現地調査結果・土質調査結果等の精査不足から当初 の工期内竣工が不可能となっている。また、仮栈橋工において、検討が不十分なま ま汎用品でない（通常市場に出回らない特注品）鋼材が適用されている。 例3 工期延長について 交通管理者、発注者及び施工業者等による当初の施工協議が不十分であったた め、当初工期（約9ヶ月）を大幅に延長した期間（約14ヶ月）を要している。				

令和 年 月 日

## 長崎県工事技術調査業務完了報告書

長崎県知事 平田 研 様

所 在 地  
法 人 名  
代表者職氏名

令和 年 月 日から令和 年 月 日に実施しました工事技術調査の結果について、委託契約書第1条第4号の規定により下記のとおり提出します。

### 記

1. 調査担当機関及び調査担当技術士名

〇〇〇振興局	技術士	〇〇〇〇

2. 調査の結果

既提出の「調査結果報告書」のとおり